

2021 年 2 月 12 日

各 位

会社名 フィーチャ株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 脇 健一郎
(コード番号：4052 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 CFO 管理部長 立花 嵩大
(TEL.03-6907-0312)

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせします。

記

○開催状況

公開日時 2021 年 2 月 12 日（金）15:30
開催方法 決算説明動画のオンライン配信
動画掲載場所 当社ホームページ（URL：<https://youtu.be/MJm2e-RFGbA>）
説明会資料名 2021 年 6 月期 第 2 四半期決算説明資料

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以 上

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2021年6月期 第2四半期決算説明資料

フィーチャ株式会社（東証マザーズ4052）

2021年2月12日



1. 当第2四半期の状況

2. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

・四半期決算情報

本資料の数値はすべて連結ベースで記載しております。

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

1. 当第2四半期の状況

2. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

業績概況

□ 売上高118百万円 (前年同期比△28.0%)、営業損失33百万円 (前年同期は営業利益8百万円)

(売上高内訳)

・受託開発収入39百万円 (前年同期比△59.1%)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、先行開発予算の縮小

・ライセンス収入79百万円 (前年同期比 + 15.0%)

1Qに引き続きクライアントのドライブレコーダーの販売が好調に推移

トピック

□ 大手自動車メーカーからの新規受注獲得

□ スマートインフラ案件数の増加

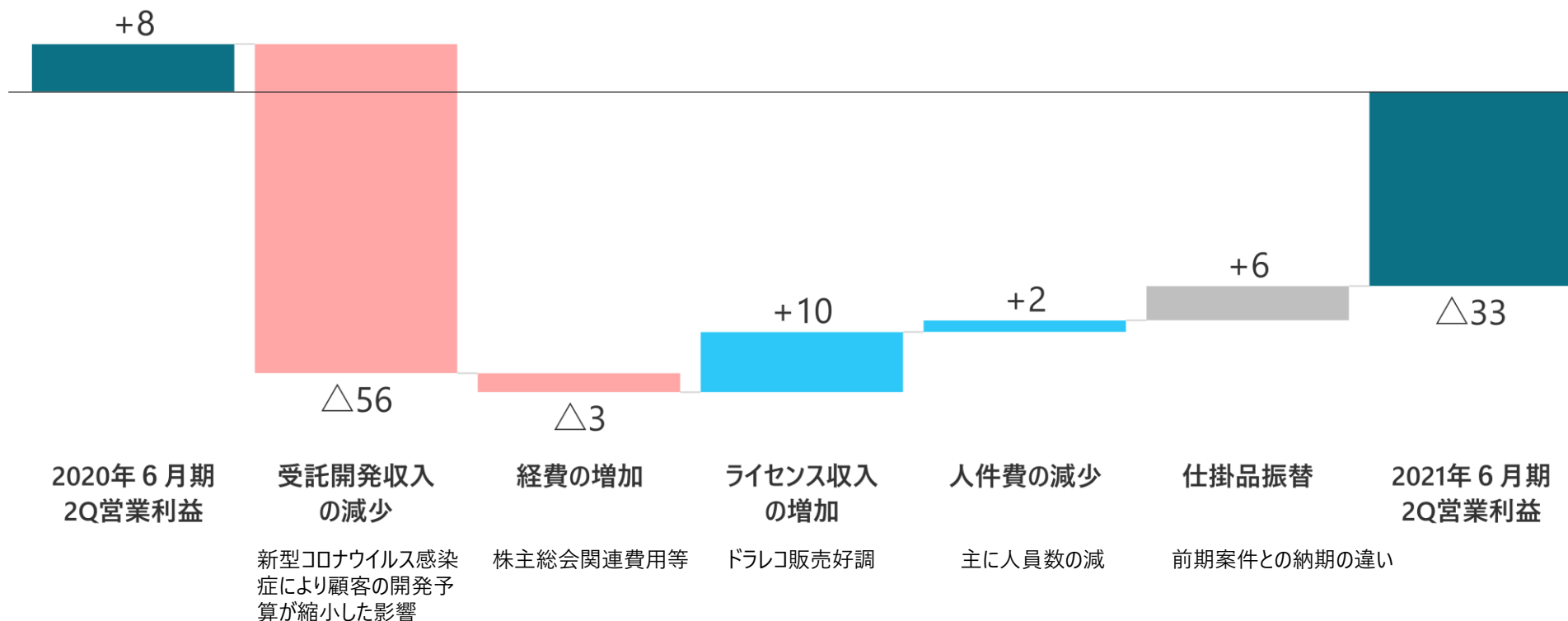
□ 2Qまでの実績や足元の状況などを踏まえ、通期業績予想を下方修正

(単位：百万円)

	2020年 6 月期	2021年 6 月期		2021年 6 月期	2020年 6 月期
	2Q実績	2Q実績	前年同期比	通期予想	実績（参考）
売上高	164	118	△28.0%	274	419
うち、受託開発収入	95	39	△59.1%	124	285
うち、ライセンス収入	68	79	+ 15.0%	149	133
売上原価、販管費	156	151	△2.0%	331	321
うち、人件費	98	96	△2.0%	205	193
うち、経費	56	60	+ 5.7%	126	123
うち、仕掛品振替	0	△5	—	—	4
営業利益	8	△33	—	△57	98
経常利益	8	△32	—	△55	90
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5	△31	—	△54	66

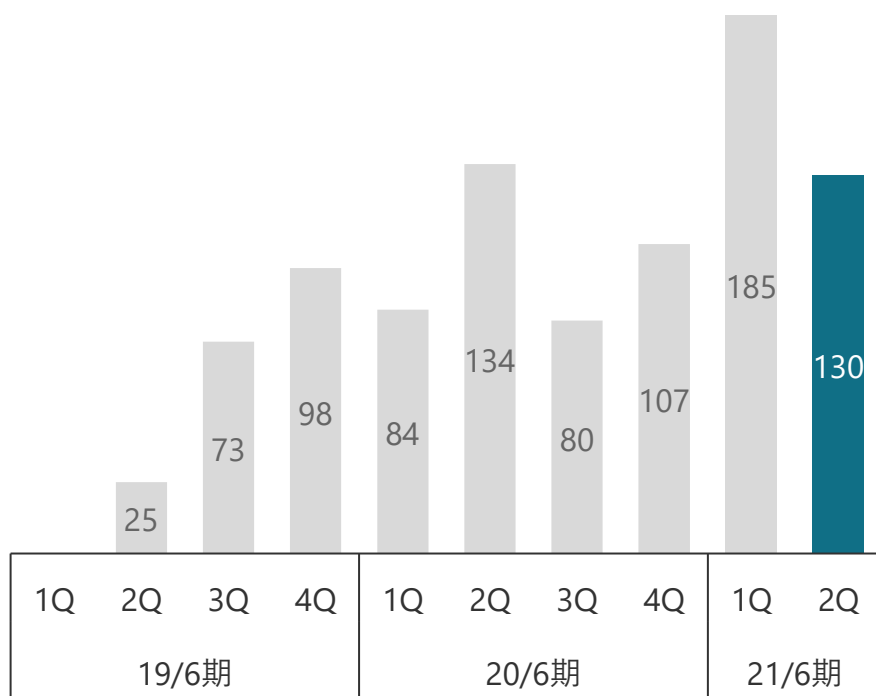
受託開発収入の減少をコスト削減等で補えず、前年同期比で減益

(単位：百万円)

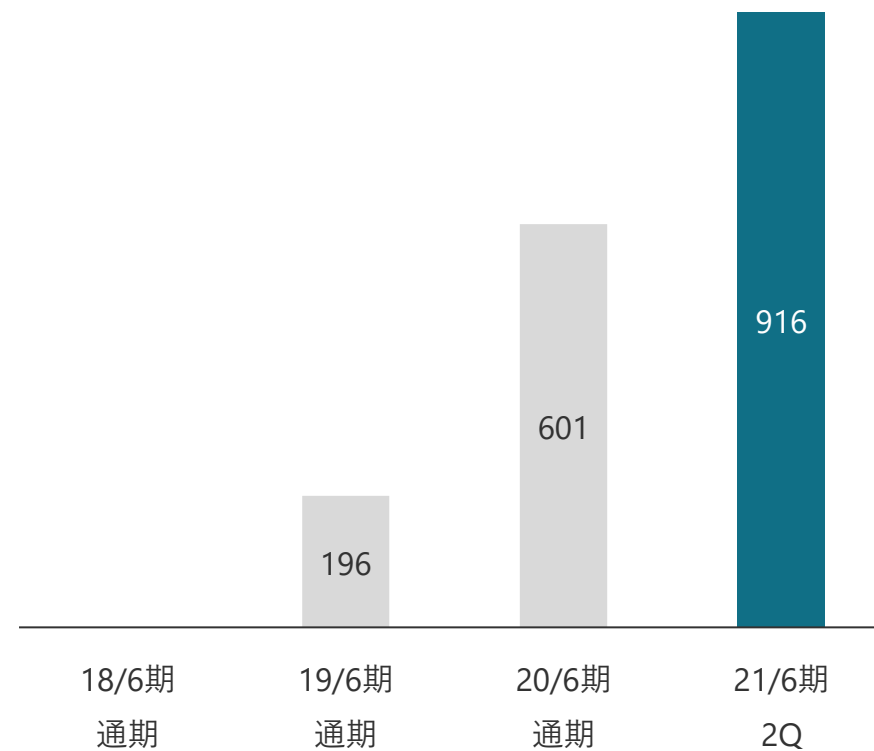


ドライブレコーダーの販売状況が引き続き好調

四半期別量産台数（千台）



累計量産台数（千台）



1. 当第2四半期の状況

2. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

通期業績予想 | 2021年6月期業績予想の修正

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による影響が想定以上であり、主要得意先の先行開発予算縮小
- ・下期に量産開始を見込んでいた、大手自動車メーカーの新車向け車載カメラ案件の遅延
- ・人員採用計画の見直し等を行うも、上記売上減をカバーできず利益を下方修正

(単位：百万円)

	2021年6月期		
	当初予想	修正予想	当初予想比
売上高	454	274	△39.5%
うち、受託開発収入	260	124	△52.2%
うち、ライセンス収入	193	149	△22.5%
売上原価、販管費	353	331	△6.2%
うち、人件費	228	205	△10.2%
うち、経費	125	126	+ 1.2%
うち、仕掛品振替	—	—	—
営業利益	100	△57	—
経常利益	100	△55	—
親会社株主に帰属する当期純利益	70	△54	—

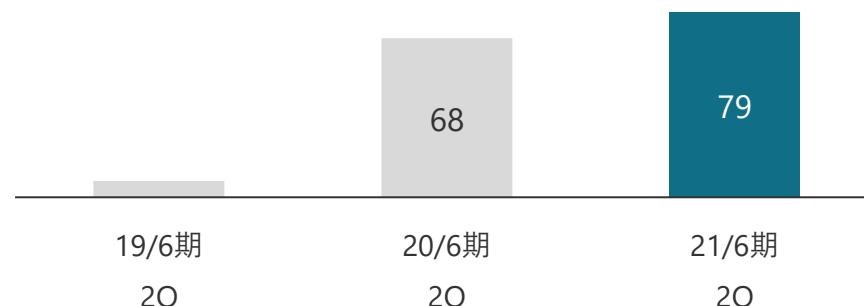
1. 先行開発案件の中断

- ・弊社の主要取引先3社の先行開発案件売上が、
約118百万円の予算未達
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が想定以上であり、
先行開発予算の縮小へつながった

2. 量産開始時期の遅延

- ・新車向け車載カメラ案件の量産開始時期が遅延
- ・ライセンス収入の計上時期が来期に期ずれし、
約38百万円の予算未達

ライセンス収入の推移 (百万円)



1. 既存量産案件の安定したライセンス収入

- ・ライセンス収入は前期比15%増収
- ・ドラレコ案件が安定したライセンス収入を支える

2. 新規量産案件の獲得

- ・大手自動車メーカーからの新規受注獲得
- ・新規ドラレコ案件の量産開始 (ADAS、DMS)
- ・新規顧客ドラレコ案件獲得 (来期ライセンス発生見込)

3. 新市場の立ち上がり順調

- ・スマートインフラ案件 新規顧客受注1件、受注確実1件
- ・その他、新規引き合いあり

案件別主要顧客一覧

車載	・大手自動車メーカー ・海外Tier1 ・国内Tier1 2社 ・大手自動車メーカー (New)
ドラレコ	・日本ユニシス ・国内Tier1 ・国内Tier1 (New)
インフラ	・大手電気機器メーカー ・大手電気機器メーカー (New) ・高速道路管理会社 (New)



売上減はコロナによる先行開発の予算削減の影響で一時的
新規量産案件の獲得・新市場開拓といった成長戦略は引き続き継続

1

車載ソフトウェア事業の更なる拡充

今後もニーズの拡大が予想される車載用画像認識ソフトウェアの開発及び販売を進めることにより、事業の拡大と高い成長性を継続する方針です。



認識性能の改善とニーズに沿った新規機能の拡充

自動駐車支援向け画像認識技術の開発

ドライバーモニタリングシステムの複数機能を拡充

2

ディープラーニング技術の開発加速

今後、一層の高性能化が期待される画像認識分野において、ディープラーニングは必要不可欠な技術となります。当社では、ディープラーニング技術の研究開発を促進し、新規案件の獲得に努めます。



最小限のカスタマイズコストで搭載可能な汎用性の高いディープラーニング技術を開発中

3

インフラ、ホーム、ヘルステック等の他市場への展開

今後、インフラや家電等の様々な市場において、画像認識技術が一層普及してくるものと考えられます。当社としても、他の分野にも積極的に進出し、事業の拡大を図っていく方針です。



スマートインフラ、デジタルトランスフォーメーション、デジタルサイネージなどの分野へ応用可能な画像認識ソリューションを開発



1. 当第2四半期の状況

2. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

(単位：百万円)

	2020年 6 月期				2021年 6 月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	62	101	147	108	66	51		
うち、受託開発収入	36	58	117	73	22	16		
うち、ライセンス収入	26	42	29	35	43	35		
※売上原価	28	23	34	32	12	13		
売上総利益 (粗利率)	32 51.3%	79 78.1%	113 76.9%	75 70.1%	53 81.0%	38 74.1%		
※販管費	52	50	43	55	64	61		
うち、研究開発費	16	14	6	10	24	22		
営業利益 (営業利益率)	△18 △29.3%	26 26.2%	70 47.5%	20 18.8%	△10 △15.8%	△22 △44.2%		

※原価＋販管費合計	81	74	77	87	76	74		
うち、人件費	49	49	48	47	47	48		
うち、経費	28	28	29	37	30	29		
うち、仕掛品振替	3	△2	△0	3	△1	△3		

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、本資料公表日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではございません。

— I R に関するお問い合わせ先 —

フィーチャ株式会社 管理部

E-Mail : management@ficha.jp